



SIPフェデレーションに関するCisco Adaptive Security Appliance (ASA) の設定



(注) IM and Presence サービス リリース 9.0 以降では、Microsoft Lync とのドメイン間フェデレーションがサポートされています。また IM and Presence サービス リリース 9.0 以降の場合、OCS とのドメイン間フェデレーションへの参照には、別途明示的な指定がない限り、Microsoft Lync が指定されます。

- [Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) のユニファイドコミュニケーションウィザード, 1 ページ](#)
- [外部および内部インターフェイスの設定, 2 ページ](#)
- [スタティック IP ルートの設定, 3 ページ](#)
- [ポートアドレス変換 \(PAT\) , 4 ページ](#)
- [スタティック PAT コマンドの例, 9 ページ](#)
- [既存の導入に対する Cisco Adaptive Security Appliance \(ASA\) アップグレードオプション, 13 ページ](#)

Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) のユニファイドコミュニケーションウィザード

ご使用のドメイン間フェデレーション導入に単一の IM and Presence サービスを導入する場合は、Cisco Adaptive Security Appliance でユニファイドコミュニケーションウィザードを使用して、Cisco Adaptive Security Appliance と IM and Presence サービスの間のプレゼンスフェデレーションプロキシを設定できます。

ユニファイドコミュニケーションウィザードが表示されている設定例を、次の URL にある IM and Presence サービスに関するドキュメンテーション wiki でご確認ください。

外部および内部インターフェイスの設定

Cisco Adaptive Security Appliance で2つのインターフェイスを設定するには、次のようにします。

- 1つのインターフェイスを外部インターフェイスとして使用します。これは、インターネットおよび外部ドメインサーバ（例、Microsoft Access Edge/アクセスプロキシ）へのインターフェイスです。
- 2番目のインターフェイスを内部インターフェイスとして使用します。これは、ご使用の導入に応じて、IM and Presence サービスへのインターフェイスか、ロードバランサのインターフェイスになります。
- インターフェイスを設定する際、イーサネットやギガビットイーサネットなどのインターフェイスタイプとインターフェイススロットを指定する必要があります。Cisco Adaptive Security Appliance のスロット 0 には、4つのイーサネットポートまたはギガビットポートが備わっています。任意に、スロット 1 に SSM-4GE モジュールを追加して、スロット 1 で4つのギガビットイーサネットポートを実現することもできます。
- ルートトラフィックへのインターフェイスごとに、インターフェイス名と IP アドレスを設定する必要があります。内部インターフェイスの IP アドレスと外部インターフェイスの IP アドレスは異なるサブネットに含まれる必要があります。つまり、異なるサブマスクがある必要があります。
- 各インターフェイスのセキュリティレベルは、0（最低）～100（最高）の間である必要があります。セキュリティレベル値100は、最もセキュアなインターフェイス（内部インターフェイス）です。セキュリティレベル値0は、最もセキュアでないインターフェイスです。内部インターフェイスや外部インターフェイスに対してセキュリティレベルを明示的に設定しない場合、Cisco Adaptive Security Appliance によりデフォルトで100に設定されます。
- CLI を使用して外部インターフェイスおよび内部インターフェイスを設定する方法の詳細については、『Cisco Security Appliance Command Line Configuration Guide』を参照してください。



(注) 内部インターフェイスおよび外部インターフェイスは、ASDM 起動 (ASDM startup) ウィザードを使用して設定することもできます。また、ASDM で [設定 (Configuration)] > [デバイス設定 (Device Setup)] > [インターフェイス (Interfaces)] を選択することによってインターフェイスを表示または編集することもできます。

スタティック IP ルートの設定

Cisco Adaptive Security Appliance は、OSPF、RIP および EIGRP などのダイナミック ルーティング プロトコルとスタティック ルートを両方ともサポートしています。本統合を実現するには、Cisco Adaptive Security Appliance の内部インターフェイスにルーティングされる IP トラフィックと、外部インターフェイスにルーティングされるトラフィックに対するネクストホップアドレスを定義するスタティック ルートを設定する必要があります。次の手順で、`dest_ip` マスクは接続先ネットワークの IP アドレス、`gateway_ip` 値はネクストホップのルータまたはゲートウェイのアドレスです。

Cisco Adaptive Security Appliance でデフォルト ルートおよびスタティック ルートを設定する方法の詳細については、『*Cisco Security Appliance Command Line Configuration Guide*』を参照してください。

はじめる前に

の手順を実行します。 [外部および内部インターフェイスの設定](#), (2 ページ)

手順

-
- ステップ 1** コンフィギュレーション モードを開始します。
- ```
> Enable
> <password>
> configure terminal
```
- ステップ 2** 次のコマンドを入力して、内部インターフェイスにスタティック ルートを追加します。
- ```
hostname(config)# route inside dest_ip mask gateway_ip
```
- ステップ 3** 次のコマンドを入力して、外部インターフェイスにスタティック ルートを追加します。
- ```
hostname(config)# route outside dest_ip mask gateway_ip
```

(注) また、ASDM で [設定 (Configuration)] > [デバイス設定 (Device Setup)] > [ルーティング (Routing)] > [スタティック ルート (Static Route)] を選択することによってスタティック ルートを表示および設定することもできます。

図 1: ASDM を使用したビューのスタティック ルート

| #                                        | Type    | Original Source | Destination | Service  | Translated Interface | Address      |
|------------------------------------------|---------|-----------------|-------------|----------|----------------------|--------------|
| inside (5 Static rules, 1 Dynamic rules) |         |                 |             |          |                      |              |
| 1                                        | Static  | 10.53.46.178    |             | tcp 5061 | outside              | 10.53.46.199 |
| 2                                        | Static  | 10.53.46.178    |             | udp 5070 | outside              | 10.53.46.199 |
| 3                                        | Static  | 10.53.46.178    |             | tcp 5062 | outside              | 10.53.46.199 |
| 4                                        | Static  | 10.53.46.178    |             | tcp sip  | outside              | 10.53.46.199 |
| 5                                        | Static  | 10.53.46.178    |             | udp sip  | outside              | 10.53.46.199 |
| 6                                        | Dynamic | any             |             |          | outside              | 10.53.46.199 |

## 次の作業

[ポートアドレス変換 \(PAT\) , \(4 ページ\)](#)

# ポート アドレス変換 (PAT)

## 本統合に必要なポート アドレス変換



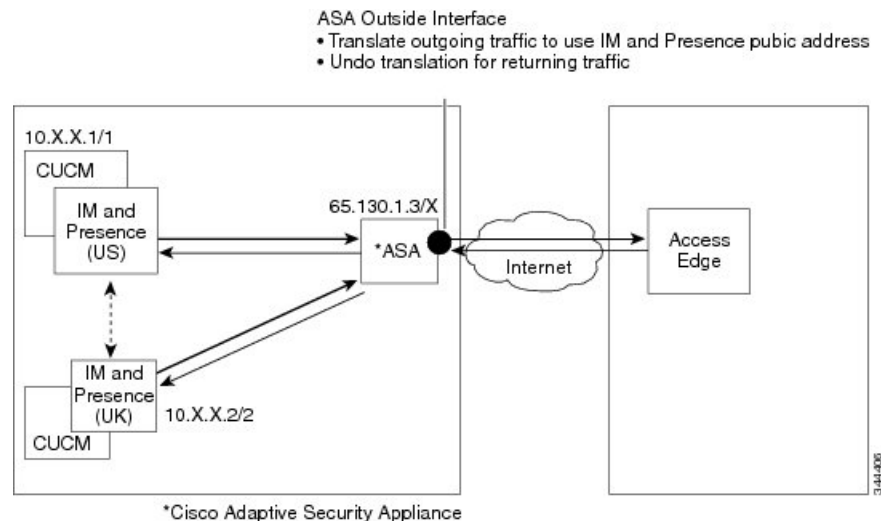
(注) 外部ドメインで別の IM and Presence サービスのエンタープライズ導入とのフェデレーションを行う場合は、ポート アドレス変換も使用します。

本統合を実現するため、Cisco Adaptive Security Appliance ではポートアドレス変換 (PAT) およびスタティック PAT を使用してメッセージ アドレス変換を行っています。Cisco Adaptive Security Appliance では、本統合を実現するためにネットワーク アドレス変換 (NAT) は使用していません。

本統合では、PAT を使用して、IM and Presence サービスから送信されたメッセージを外部ドメインに (プライベートメッセージをパブリックメッセージに) 変換します。ポート アドレス変換 (PAT) とは、パケット内の実際のアドレスおよびソース ポートが接続先ネットワーク上でルーティング可能なマップされたアドレスおよび固有のポートに置換されることを意味します。この変換方法で使用される二段階のプロセスでは、実際の IP アドレスとポートをマップされた IP アドレスとポートに変換します。戻ってくるトラフィックでは、変換が「元に戻されます」。

Cisco Adaptive Security Appliance は、IM and Presence サービスのプライベート IP アドレスとポートをパブリック IP アドレスと 1 つ以上のパブリック ポートに変更することで、IM and Presence サービスから外部ドメインに送信されたメッセージを（プライベート メッセージからパブリック メッセージに）変換します。このため、ローカルの IM and Presence サービス ドメインでは 1 つのパブリック IP アドレスのみを使用します。Cisco Adaptive Security Appliance は、外部インターフェイスに NAT コマンドを割り当て、そのインターフェイスで受信された任意のメッセージの IP アドレスおよびポートを次の図に示すように変換します。

図 2 : IM and Presence サービスから外部ドメインへのメッセージの PAT の例

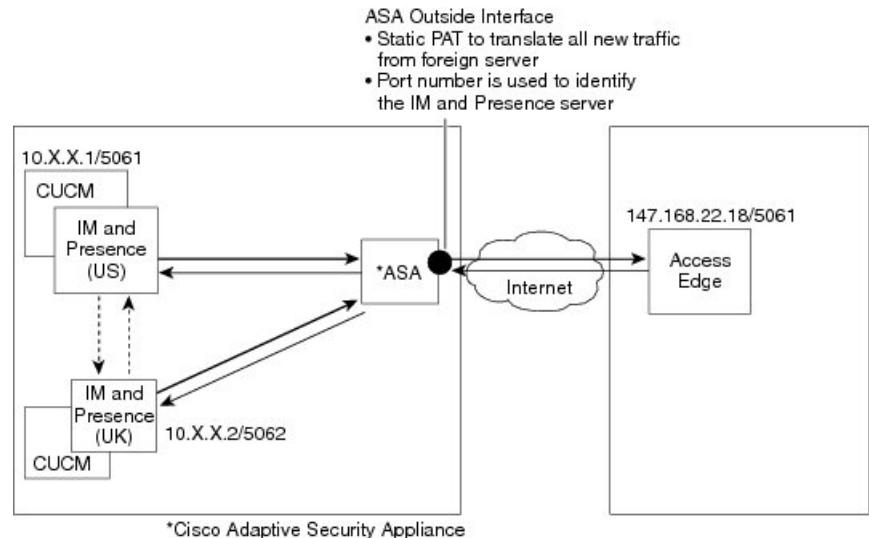


外部ドメインから IM and Presence サービスへ送信された新しいメッセージの場合、Cisco Adaptive Security Appliance はスタティック PAT を使用して IM and Presence サービス のパブリック IP アドレスとポートに送信されたメッセージを指定された IM and Presence サービス ノードにマッピングします。スタティック PAT を使用することで、実際の IP アドレスをマップされた IP アドレスに変換し、実際のポート番号をマップされたポート番号に変換できます。実際のポート番号を同じポート番号にも異なるポート番号にも変換することができます。この場合、ポート番号は次の図に示すように、適切な IM and Presence サービス ノードを識別して、メッセージ要求を処理します。



(注) IM and Presence サービス ノードにユーザが存在しない場合、IM and Presence サービスルーティング ノードはクラスタ間ルーティングを使用してメッセージをリダイレクトします。すべての応答が、IM and Presence サービス ルーティング ノードから Cisco Adaptive Security Appliance に送信されます。

図 3: 外部ドメインから送信されたメッセージに対してスタティック PAT



## プライベート要求のポート/アドレスのパブリック要求のポート/アドレスへの変換 (PAT)

本統合を実現するため、プライベートメッセージアドレスのパブリックメッセージアドレスへの変換には次の設定が必要になります。

- 変換したい実際の IP アドレスおよびポート番号を識別する NAT ルールを定義します。この場合、Cisco Adaptive Security Appliance が内部インターフェイスで受信された任意のメッセージに NAT 操作を適用するという NAT ルールを設定します。
- 外部インターフェイスから発信されるメッセージに使用するマップされたアドレスを指定するグローバル NAT 操作を設定します。本統合を実現するには、ただ 1 つのアドレスを指定します (PAT を使用するため)。NAT 操作では、(内部インターフェイスで受信されたメッセージの) IP アドレスを IM and Presence サービスのパブリックアドレスにマップします。

下の表に、Cisco Adaptive Security Appliance リリース 8.2 と 8.3 のグローバルアドレス変換コマンドの例を示します。最初の行は、単一の IM and Presence サービスの導入でも複数の IM and Presence サービスの導入でも必須です。2 番目の行は、単一の IM and Presence サービスの導入のみを対象としています。3 番目の行は、複数の IM and Presence サービスの導入を対象としています。

表 1: グローバルアドレス変換コマンドの例

| 設定例                                                                                       | Cisco Adaptive Security Appliance<br>リリース 8.2 グローバルコマンド                                                                                                                       | Cisco Adaptive Security Appliance<br>リリース 8.3 グローバルコマンド                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| この NAT 設定例は、内部インターフェイスに1つ以上の IM and Presence サービス ノードがあり、それ以外のファイアウォールトラフィックがない導入で使用できます。 | <code>global (outside) 1<br/>public_imp_address nat<br/>(inside) 1 0 0</code>                                                                                                 | <code>object network obj_any host<br/>0.0.0.0 nat (inside,outside)<br/>dynamic public_imp_address</code>                                                                                                                                                                      |
| この NAT 設定例は、内部インターフェイスに1つの IM and Presence サービス ノードとその他のファイアウォールトラフィックがある導入で使用できます。       | <code>global (outside) 1<br/>public_imp_address nat<br/>(inside) 1<br/>private_imp_address<br/>255.255.255.255 global<br/>(outside) 2 interface nat<br/>(inside) 2 0 0</code> | <code>host private_imp_address nat<br/>(inside,outside) dynamic<br/>public_imp_address<br/>object network my_inside<br/>subnet 0.0.0.0 0.0.0.0 nat<br/>(inside,outside) dynamic<br/>interface</code>                                                                          |
| この NAT 設定例は、内部インターフェイスに複数の IM and Presence サービス ノードとその他のファイアウォールトラフィックがある導入で使用できます。       | <code>global (outside) 1<br/>public_imp_ip nat (inside) 1<br/>private_imp_net<br/>private_imp_netmask<br/>global (outside) 2 interface<br/>nat (inside) 2 0 0</code>          | <code>object network<br/>obj_private_subnet.0_255.255.255.0<br/>subnet private_subnet<br/>255.255.255.0 nat<br/>(inside,outside) dynamic<br/>public_imp_address<br/>object network my_inside<br/>subnet 0.0.0.0 0.0.0.0 nat<br/>(inside,outside) dynamic<br/>interface</code> |



(注) 表の最後の行に示す設定例では、Cisco Adaptive Security Appliance の背後に複数の IM and Presence サービス ノードがある場合に、これらの IM and Presence サービス ノードがすべて同じサブネット上に存在することを想定しています。具体例を挙げると、すべての内部 IM and Presence サービス ノードが 2.2.2.x/24 ネットワーク内にある場合、NAT コマンドは `nat (inside) 1 2.2.2.0 255.255.255.0` となります。

## 新規要求に対するスタティック PAT

本統合を実現するため、プライベート メッセージ ドレスのパブリック メッセージ ドレスへの変換には次の設定が必要になります。

- TCP でポート 5060、5061、5062 および 5080 に対してスタティック PAT コマンドを設定します。
- UDP でポート 5080 に対して別のスタティック PAT コマンドを設定します。

本統合で使用するポートの説明は、次のとおりです。

- 5060：このポートは、Cisco Adaptive Security Appliance で一般的な SIP 検査を行うために使用されます。
- 5061：このポートに SIP 要求が送信され、それによって TLS ハンドシェイクがトリガーされます。
- 5062、5080：これらのポートは、IM and Presence サービスにより SIP VIA/CONTACT ヘッダー内で使用されます。



(注) IM and Presence サービスのピア認証リスナーを確認するには、**Cisco Unified CM IM and Presence Administration** にログインし、[システム (System)] > [アプリケーションリスナー (Application Listeners)] を選択します。

#### 関連トピック

[スタティック PAT コマンドの例, \(9 ページ\)](#)  
[Cisco Adaptive Security Appliance の設定例](#)

## ASDM での NAT ルール

ASDM で NAT ルールを表示するには、[設定 (Configuration)] > [ファイアウォール (Firewall)] > [NAT ルール (NAT Rules)] を選択します。次の図に示されている最初の 5 つの NAT ルールはスタティック PAT エントリで、最後のダイナミック エントリはすべての発信トラフィックをパブリック IM and Presence サービス IP アドレスおよびポートにマップする発信 PAT 設定です。

図 4：ASDM での NAT ルールの表示

| #                                        | Type    | Original Source | Destination | Service  | Translated Interface | Address      |
|------------------------------------------|---------|-----------------|-------------|----------|----------------------|--------------|
| inside (5 Static rules, 1 Dynamic rules) |         |                 |             |          |                      |              |
| 1                                        | Static  | 10.53.46.178    |             | TCP 5061 | outside              | 10.53.46.199 |
| 2                                        | Static  | 10.53.46.178    |             | UDP 5070 | outside              | 10.53.46.199 |
| 3                                        | Static  | 10.53.46.178    |             | TCP 5062 | outside              | 10.53.46.199 |
| 4                                        | Static  | 10.53.46.178    |             | TCP sip  | outside              | 10.53.46.199 |
| 5                                        | Static  | 10.53.46.178    |             | UDP sip  | outside              | 10.53.46.199 |
| 6                                        | Dynamic | any             |             |          | outside              | 10.53.46.199 |

### 関連トピック

[スタティック PAT コマンドの例, \(9 ページ\)](#)

[Cisco Adaptive Security Appliance の設定例](#)

## スタティック PAT コマンドの例



(注) この項では、Cisco Adaptive Security Appliance リリース 8.3 およびリリース 8.2 のコマンドの例を示します。これらのコマンドは、フェデレーション用に Cisco Adaptive Security Appliance の新規設定を行う場合に実行する必要があります。

## IM and Presence サービス ノードをルーティングするための PAT 設定

次の表に、ピア認証リスナー ポートが 5062 の場合に IM and Presence サービス ノードをルーティングするための PAT コマンドを示します。



(注) Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 8.3 設定の場合、オブジェクトは一度定義するだけで複数のコマンド内で参照できます。同じオブジェクトを何度も定義する必要はありません。

表 2: IM and Presence サービスノードをルーティングするための PAT コマンド

| Cisco Adaptive Security Appliance リリース 8.2 のスタティック コマンド                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | Cisco Adaptive Security Appliance リリース 8.3 の NAT コマンド                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <pre>static (inside,outside) tcp public_imp_ip_address 5061 routing_imp_private_address 5062 netmask 255.255.255.255</pre> <p>ルーティングする IM and Presence サービスのピア認証リスニングポートが 5061 の場合は、次のコマンドを使用します。</p> <pre>static (inside,outside) tcp public_imp_ip_address 5061 routing_imp_private_address 5061 netmask 255.255.255.255</pre> <pre>static (inside,outside) tcp public_imp_ip_address 5080 routing_imp_private_address 5080 netmask 255.255.255.255</pre> <pre>static (inside,outside) tcp public_imp_ip_address 5060 routing_imp_private_address 5060 netmask 255.255.255.255</pre> | <pre>object network obj_host_public_imp_ip_address (for example object network obj_host_10.10.10.10) #host public_imp_ip_address  object network obj_host_routing_imp_private_address host routing_imp_private_address  object service obj_tcp_source_eq_5061 service tcp source eq 5061  object service obj_tcp_source_eq_5062 service tcp source eq 5062  nat (inside,outside) source static obj_host_routing_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5062 obj_tcp_source_eq_5061</pre> <p>ルーティングする IM and Presence サービスのピア認証リスニングポートが 5061 の場合は、次のコマンドを使用します。</p> <pre>nat (inside,outside) source static obj_host_routing_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5061 obj_tcp_source_eq_5061</pre> |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <pre>object service obj_tcp_source_eq_5080 service tcp source eq 5080 nat (inside,outside) source static obj_host_routing_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5080 obj_tcp_source_eq_5080</pre>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <pre>object service obj_tcp_source_eq_5060 service tcp source eq 5060</pre> <p>(注) 5060 displays as "sip" in the service object.</p> <pre>nat (inside,outside) source static obj_host_routing_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5060 obj_tcp_source_eq_5060</pre>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

| Cisco Adaptive Security Appliance リリース 8.2 のスタティック コマンド                                                                    | Cisco Adaptive Security Appliance リリース 8.3 の NAT コマンド                                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <pre>static (inside,outside) tcp public_imp_ip_address 5062 routing_imp_private_address 5062 netmask 255.255.255.255</pre> | <pre>nat (inside,outside) source static obj_host_routing_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5062 obj_tcp_source_eq_5062</pre> |

### 関連トピック

[新規要求に対するスタティック PAT, \(7 ページ\)](#)

[クラスタ間およびクラスタ内 IM and Presence サービス ノードの PAT 設定, \(11 ページ\)](#)

## クラスタ間およびクラスタ内 IM and Presence サービス ノードの PAT 設定

マルチノードまたはクラスタ間の IM and Presence サービスの導入で IM and Presence サービス クラスタ内の非ルーティング ノードが直接 Cisco Adaptive Security Appliance と通信する場合、これらのノードごとにスタティック PAT コマンドのセットを設定する必要があります。次にリストするコマンドは、単一のノードに対して設定する必要があるスタティック PAT コマンドのセットの例です。

任意のポートを使用できますが、未使用のポートである必要があります。対応する番号を選択することを推奨します。たとえば、5080 の場合は、未使用の任意のポート X5080 を使用します。ここで、X は IM and Presence サービス クラスタ間またはクラスタ内サーバに固有にマップされている番号に相当します。例を挙げると、45080 は特定のノードに固有にマップされており、55080 は別のノードに固有にマップされています。

次の表に、非ルーティング IM and Presence サービス ノードに対する NAT コマンドを示します。非ルーティング IM and Presence サービス ノードごとにコマンドを繰り返します。



(注) Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) 8.3 設定の場合、オブジェクトは一度定義するだけで複数のコマンド内で参照できます。同じオブジェクトを何度も定義する必要はありません。

表 3: 非ルーティング IM and Presence サービスノードに対する NAT コマンド

| Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) リリース 8.2 のスタティック コマンド                                                                                                                                                                                                                                                                       | Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) リリース 8.3 の NAT コマンド                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <pre>static (inside,outside) tcp public_imp_address 45062 intercluster_imp_private_address 5062 netmask 255.255.255.255</pre> <p>クラスタ間 IM and Presence サービスのピア認証リスニングポートが 5061 の場合は、次のコマンドを使用します。</p> <pre>static (inside,outside) tcp public_imp_address 45061 intercluster_imp_private_address 5061 netmask 255.255.255.255</pre> | <pre>object network obj_host_intercluster_imp_private_address host intercluster_imp_private_address</pre> <pre>object service obj_tcp_source_eq_45062 service tcp source eq 45062</pre> <pre>nat (inside,outside) source static obj_host_intercluster_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5062 obj_tcp_source_eq_45062</pre> <p>クラスタ間 IM and Presence サービスのピア認証リスニングポートが 5061 の場合は、次のコマンドを使用します。</p> <pre>object service obj_tcp_source_eq_45061 service tcp source eq 45061 nat (inside,outside) source static obj_host_intercluster_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5061 obj_tcp_source_eq_45061</pre> |
| <pre>static (inside,outside) tcp public_imp_ip_address 45080 intercluster_imp_private_address 5080 netmask 255.255.255.255</pre>                                                                                                                                                                                                    | <pre>object service obj_tcp_source_eq_45080 service tcp source eq 45080 nat (inside,outside) source static obj_host_intercluster_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5080 obj_tcp_source_eq_45080</pre>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <pre>static (inside,outside) tcp public_imp_ip_address 45060 intercluster_imp_private_address 5060 netmask 255.255.255.255</pre>                                                                                                                                                                                                    | <pre>object service obj_tcp_source_eq_45060 service tcp source eq 45060 nat (inside,outside) source static obj_host_intercluster_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5060 obj_tcp_source_eq_45060</pre>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## 関連トピック

[新規要求に対するスタティック PAT, \(7 ページ\)](#)

[IM and Presence サービスノードをルーティングするための PAT 設定, \(9 ページ\)](#)

# 既存の導入に対する Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) アップグレードオプション

Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) のリリース 8.2 をリリース 8.3 にアップグレードすると、Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) では既存のコマンドがシームレスに移行されます。



- (注) IM and Presence サービス リリース 9.0 にアップグレードした場合は、Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) に管理されている IM and Presence サービス 9.0 ノードごとに、Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) のポート 5080 をオープンする必要があります。これは、Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) もアップグレードしたかどうかには無関係です。

既存のフェデレーション導入で IM and Presence サービスと Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) の両方をアップグレードする場合は、次のいずれかのアップグレード手順を使用してください。

## アップグレード手順オプション 1 :

- 1 IM and Presence サービスを リリース 9.0 にアップグレードする手順について説明します。
- 2 Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) のポート 5080 に NAT ルールを設定します。
- 3 IM and Presence サービスのアップグレード後にフェデレーションが導入で機能していることを確認します。
- 4 Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) を リリース 8.3 にアップグレードします。
- 5 Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) のアップグレード後にフェデレーションが導入で機能していることを確認します。

## アップグレード手順オプション 2 :

- 1 IM and Presence サービス ノードを リリース 9.0、Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) を リリース 8.3 にそれぞれアップグレードします。
- 2 両方のアップグレード後、Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) のポート 5080 に NAT ルールを設定します。
- 3 フェデレーションが導入で機能していることを確認します。

Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) に管理されているすべての IM and Presence サービス リリース 9.0 ノードに対してポート 5080 をオープンするには、必要なコマンドがあります。

表 4: ポート 5080 への Cisco ASA コマンド

| Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) リリース 8.2 のスタティック コマンド                                                                                                                                                                                                                                                                         | Cisco Adaptive Security Appliance (ASA) リリース 8.3 の NAT コマンド                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <pre>static (inside,outside) tcp public_imp_ip_address 5080 routing_imp_private_address 5080 netmask 255.255.255.255  static (inside,outside) tcp public_imp_ip_address 45080 intercluster_imp_private_address 5080 netmask 255.255.255.255</pre> <p>(注) クラスタ間 IM and Presence サービス 9.0 ノードごとにこれらのコマンドを設定し、サーバごとに異なる任意のポートを使用します。</p> | <pre>object service obj_tcp_source_eq_5080 # service tcp source eq 5080  nat (inside,outside) source static obj_host_routing_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5080 obj_tcp_source_eq_5080  object service obj_tcp_source_eq_45080 # service tcp source eq 45080  nat (inside,outside) source static obj_host_intercluster_imp_private_address obj_host_public_imp_ip_address service obj_tcp_source_eq_5080 obj_tcp_source_eq_45080</pre> <p>(注) クラスタ間 IM and Presence サービス 9.0 ノードごとにこれらのコマンドを設定し、サーバごとに異なる任意のポートを使用します。</p> |